



開発への行政指導は
市民の利益を守る立場で
塚越 洋一 議員

問 開発に対する行政指導について、法律に違反はない限りにおいて、最低限の規制さえ守っていればよいという考え方で、市民の利益は守れるのか。

安全確認の
体制充実を

答 一人暮らしの高齢者が増え、安全確認が必要なケースが多発している。関係機関の連携と情報提供ネットワークの充実が必要ではないか。

大井小の通学路
安全対策

問 朝夕の渋滞を避ける車両が狭い通学路を通り大変危険だ。グリーンベルトなど引けないか。

答 小学校・PTA・地域住民から要望があれば、県警察と連携を図りながら実施可能な対策を研究していく。



水道メーター器
計量法違反の適正化を
新井 光男 議員



問 現状の改善と到達点は。

答 1月末現在、未交換水道メーターの内216個の交換が完了、残りの内174個は改修の計画がある。水道メーターの交換は、市が行う業務であることから引き続き迅速に実施する。

資格取得の受講に
要する補助の創設を

問 市民の就労促進を図るために、独自の経費補助を。

答 現在、市において資格取得における補助制度の創設は考えていない。商工会と連携を強化し、小規模事業者等の声を聞き、効果的な支援を進める。市の実情に合った支援策を研究する。また、国の資格獲得に対する

小中学校教職員の
健康管理

問 教職員への支援は。

答 令和3年5月1日現在、6名が休職している。学校において、様々な業務の工夫、改善を行い、教職員が心身ともに健康で、安心して勤務できる職場環境の推進に努める。



地域猫活動の周知啓発を
伊藤 美枝子 議員

問 さくら猫無料不妊手術の実績は。

答 市とボランティア団体が連携し、県の動物基金チケットを活用して、平成28年度から令和3年度2月末現在まで合計800匹の不妊去勢手術を実施している。

文化芸術が
あふれる街に

問 これから建設される西文化施設や東文化施設のホールで使用するピアノは、それぞれの規模や特色を活かして選定すべき。日本のホールでは珍しいイタリア製のピアノは人気がある。市でも設置を。

答 多くの人に利用してもらえるように、演奏家・指導者などから意見を聴取し決定したい。

問 文化芸術に精通している専門スタッフの常駐を。

答 西文化施設ホールは、本格的な舞台芸術の施設となることから、文化芸術に精通したスタッフの配置を検討する。



問 文化施設が身近な存在となるよう利用の拡大や情報発信の強化を。

答 文化芸術企画提案型事業の中で、市民やアーティストならではの目線で様々なアート事業の開催や、宣伝、広報等による周知、SNSなどを活用したユニークな情報発信などが期待できる。



文化芸術都市を目指して
鈴木 美恵 議員

子どもの性暴力被害
防止の推進を

問 「生命(いのち)の安全教育」教材の活用状況は。

答 保育現場では、園での生活の場面毎で伝えている。小学校では宿泊学習の事前指導や保健の授業、健康診断時に、中学校では長期休業前の学級指導や保健体育等において教材を活用して指導した。



新型コロナウイルス
第7波への備え
伊藤 初美 議員

問 次の感染拡大に備え、抗原検査キットの活用を。

答 自主採取によるキットは、周囲への感染リスクの懸念や偽陽性・偽陰性など質の担保が難しいため、医療現場の混乱を招く恐れがあると医師会から指摘されている。病院でPCR検査を受けることが防止につながるの

抗原検査キット

保育士等の処遇改善

問 保育士と放課後児童クラブ支援員は、コロナ禍の中、最前線で働いている。国の保育士等処遇改善臨時特例交付金の活用は。

答 賃上げのための補正予算を組んだ。

新たな図書館を
どのように育てるか

問 市民団体やボランティアとの協働は。

答 大井図書館では現在、ボランティアとの協働の下、充実した図書館運営や事業が行われている。



スマホ講座の様子



高齢者等への
デジタル活用支援を
川畑 京子 議員

問 高齢者等のデジタル格差が社会問題となっている。スマホの使い方など、実際のニーズをふじみんぴんしゃん体操等の講座を活用した調査、支援を行ってはどうか。

答 介護予防センターでは、講座後のアンケート調査などで利用者のニーズ把握に努めている。スマホの使い方についての講座は、要望が多く、今後も実施していく予定である。